

# 防災・安全ニュース

VOL. 26

危機管理課

2025年6月号

電話：65-1282

熱中症の危険が高まる時期になってきましたが、熱中症予防には毎日30分程度の運動で汗をかける体になる必要があります。しかし、毎日の運動はちょっと…と思われる方は、「浴トレ」（41℃以上のお風呂に10分間、肩までつかのを2週間継続）が効果ありだそうですので、できればやってみてください。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・土砂災害防止月間（6月）
- ・交通事故の初動対処
- ・大雨の時どう逃げる？

## 土砂災害防止月間（6月）

今月は、国土交通省が定める「土砂災害防止月間」であり、6月1日から6月7日は「がけ崩れ防災週間」です。次のURLで土砂災害などについての知識が得られますので、ご覧ください。

### 土砂災害から身を守る3つのポイント（政府広報オンライン）

→ <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201106/2.html>



出典：政府広報オンライン

また、6月1日から6月8日の間、土砂災害への理解を深めるとともに、防災意識を高めていただくために、消防防災合同庁舎の防災センターでロビー展を開催中ですので足を運んでみてください。

### 市ロビー展のご案内

→ <https://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/kikikanri/bousais.html>

## 交通事故の初動対処

先日、自宅にいるときに外から大きな衝突音がしたので交通事故か？と思い外に出てみると、交差点での自動車と原付バイクとの出会いがしらの事故でした。自動車の運転者は、相手方の状況（見た目は軽傷）を確認し、既に警察に連絡中で、救急車も合わせて要請していましたが、その電話が済むと車もバイクも衝突したときのま



まで両方の運転者とも何もしようとせず、ただ茫然としていましたので、車両を安全な場所に移動させ、家族と任意保険会社にも連絡することなどを助言したり、救急車の誘導をさせていただきました。

交通事故の時には気が動転してしまい、的確な行動をとることがなかなか難しいです。次のHPの情報などを参考にチェックリストを作成し、免許証入れなどに入れておくことをお勧めします。

交通事故に遭ったときは（京都府HP）

→ <https://www.pref.kyoto.jp/chikousai/documents/1170919364961.pdf>

## 大雨の時どう逃げる？

6月初旬から7月中旬頃にかけての四国地方は、皆さんご承知のとおり梅雨時期です。この時期に限らず、大雨で避難が必要な時には、市として避難指示などの避難情報を包括的に発令しますが、市民の皆さん1人ひとりに合わせた避難情報を個別にお伝えすることはできません。

このため、「自らの命は自分で守る」ことを意識し、TVやインターネットを通じて気象情報を入手していただいて**早めの避難**を心掛けていただきたいと思います。



出典：政府広報オンライン

しかし、「早めの避難」の掛け声だけで、**基本的な知識や避難の考え方がわからなければ、具体的な行動につながりません**ので、次の気象庁のホームページの動画などを参考にしてくだ

さい。

e-ラーニング「大雨の時にどう逃げる」（気象庁 HP）

→ <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

今月21日は「夏至」で、1年のうち日照時間が最も長い日になります。この日の日本の代表的な風習として有名なのが、三重県の二見興玉（ふたみおきたま）神社で行われる「夏至祭」で、夫婦岩の間から昇る朝日を浴びつつ早朝から禊（みそぎ）が行われ、天気に恵まれれば夫婦岩の遠景に富士山を臨むこともでき、荘厳な雰囲気になるそうです。大勢の方が訪れるそうで、私も機会があれば一度は行ってみたい祭事です。

(N.O)